

ドキュメントカタログ  
**HIROSHIMA ART PROJECT 2008**

# 汽水域

ベルリンと広島で国際展と地域展を開催した  
広島アートプロジェクト 2008 の活動を完全収録！



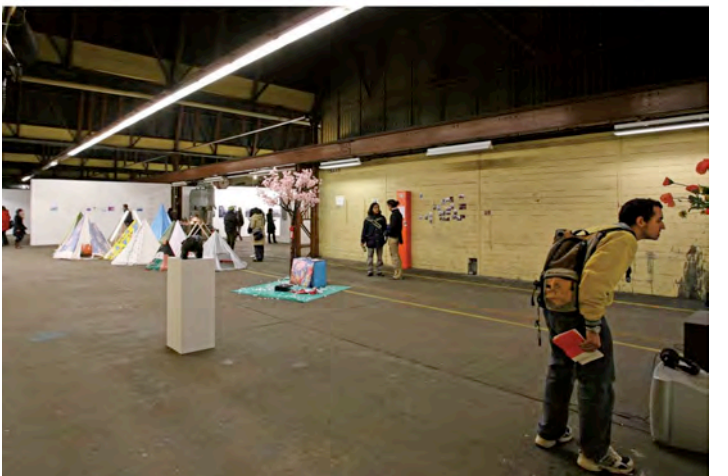
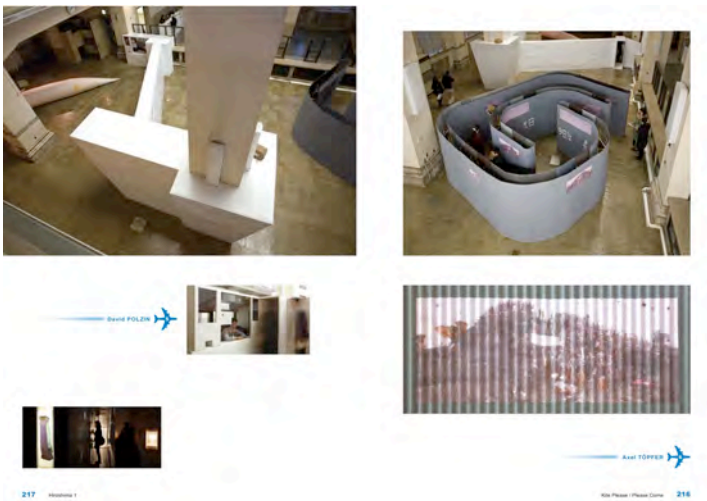
## カタログ概要

書名	広島アートプロジェクト 2008 汽水域
	監修：柳幸典 編集：加治屋健司、今井みはる、鹿田義彦 デザイン：深山大智、齋藤彩佳
発行	広島アートプロジェクト実行委員会
サイズ	B5 (257×182×20 mm)
頁数	276 ページ
内容	2008年にベルリンと広島で開催した企画展（旧中2、CAMP ベルリン—ヒロシマ）を収録。 「旧中2」は右開き・縦書き、「CAMP ベルリン—ヒロシマ」は左開き・横書きで始まる大胆な製本。 * 論文（三本） * 企画概説（二本） * 各企画の図版（展示風景、出品作品の写真） * イベント・プログラム記録、他 主な参加作家：トーマス・アデバー、アンドレア・ツィーママン+エンプファンクスハレ（コルビニアン・ペー ム+ミヒャエル・グルーバー）、浅井祐介、古堅太郎、ヘニヒ奈於美、開発好明、ダミール・ラドヴィック、マテ ィアス・ヴェルムケ+ミーシャ・ラインカウフ、柳幸典企画室、ユ・ミヨン
発行日	2009年7月31日
発売日	2009年9月5日（広島アートプロジェクト2009のオープンに併せて公式に販売いたします。）
ISBN	978-4-904167-01-4
価格	3,000円（税込）
取扱書店、会場	広島アートプロジェクト2009「吉宝丸」展会場、NADiff（予定）、Amazon（予定）、他

## 主な内容

論文	ディレクターズ・メッセージ ● 柳幸典（広島アートプロジェクトディレクター） 「ディレクターズ・メッセージ——二つの流れが交錯する場」 日本で盛んなアートプロジェクトを歴史的、地域別に考察した明快な論考。 ● 加治屋健司（広島市立大学芸術学部准教授／美術史家） 「アートプロジェクトと日本——アートのアーキテクチャを考える」 ● 岡本芳枝（広島市文化財団学芸員） 「ホワイトキューブからの脱却——アートプロジェクトの試みを考える」
各企画概説	各企画の概要を、展示作品全ての解説付きで論じた瑞々しい考察。 <旧中2> ● 今井みはる（広島市立大学芸術学部協力研究員） 「吉島でアートの水脈を探る——旧中2を振り返って」 <CAMP ベルリン—ヒロシマ> ● 古堅太郎（広島市立大学芸術学部協力研究員／アーティスト） 「CAMP ベルリン—ヒロシマ——現代美術移住プロジェクト」
各企画図版	140ページからなるカラー図版。 企画内容を踏まえた明快なレイアウト構成。「旧中2」は日本仕様で縦書き・日本語、「CAMP ベル リン—ヒロシマ」は海外仕様で横書き・英語としています。作品のコンセプトを踏まえた写真選定と豊 富な会場風景の挿入によって、実見していない人でも展覧会を迫体験できるように工夫しています。
イベント・プログラム 記録	作品展示に加えて、地域交流、国際交流を促進するために、会期前、会期中に開催した67ものワー クショップ、レクチャー等の活動を完全収録しています。

# サンプルイメージ



## 問い合わせ先

広島アートプロジェクト実行委員会  
 (担当: 今井)  
 〒731-3194 広島市安佐南区大塚東3丁目4-1  
 T/F: 082-830-1635  
 E-mail: HiroshimaArtProject@gmail.com  
 www.hiroshima-ap.jpn.org